

別紙 【策定委員会用】第6次ほくとゆうゆうふれあい計画作成のための地域分析・検討結果記入シート

記入日 令和元年11月25日

保険者名 北州市

活用データ名・指標名	指標ID	単位	備考	データの値												全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)	関連する「取組と目標」や事業等		
				自保険者					都道府県平均			全国平均			比較地域(葦崎市)							
				現状分析		実行管理			H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28						H29	H30
認定率	B4-a	%	見える化・時系列(各年度年次表示・H29年度のみ最新月時点)	11.0	11.8	12.6	100.8	※認定率の対計画比	15.5	15.5	15.7	18.0	18.0	18.3	13.3	12.7	12.9	・認定率、調整済み認定率は全国平均、山梨県平均より低い。 ・就業している高齢者が多いのではないかと。 ・医療保険の動向との関連性はないか。 ・新規申請者が少ないのではないかと。	・65歳以上の男性及び女性の就業率が全国平均、山梨県平均より高い。なお、この傾向は平成22年度から変わっていない。 (参考)H22.H27国勢調査(総務省)	・健康で元気な就業意欲のある高齢者が多く、特に、農業に従事している高齢者が認知の予防と適度な運動がなされている。引き続き、予防に特化した施策を行い、認知症対策では地域ぐるみの取り組みを実施し、早期発見に繋ぐ重症化防止に努める。 ・国民健康保険、後期高齢者医療保険の1人当たり医療費が全国平均、山梨県平均より低い。 (参考)山梨の国保と後期と介護(山梨県国民健康保険団体連合会)	・要介護認定の適正化。 ・認知症初期集中支援チームによる支援。 ・認知症ケア向上のための取組。 ・認知症サポーター養成及び普及。 ・認知症カフェの開設。	
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列(各年度年次表示)	8.9	9.8	10.6			14.1	14.1	14.2	17.9	18.0	18.0	13.1	12.8	12.3	・調整済み重度及び軽度認定率は全国平均、山梨県平均より低い。	・国民健康保険、後期高齢者医療保険の1人当たり医療費が全国平均、山梨県平均より低い。 (参考)山梨の国保と後期と介護(山梨県国民健康保険団体連合会)	・国民健康保険の1人当たり医療費は県内13市の中で最も低く、後期高齢者医療保険の1人当たり医療費は県内13市の中で2番目に低く、健康で元気な高齢者が多いと考えられる。引き続き、介護予防事業に市民が積極的、自主的に参画できるよう取り組む。	・継続して介護サービスを必要とする方が必要なときに利用できるような広報紙等を活用した情報の周知を行う。また、病院の医療相談員が退院が見込まれる高齢者に介護保険が必要であると判断した場合は、その親族に対し要介護認定申請するよう働きかけを行う。	
調整済み重度認定率(要介護3~5)	B6-a	%	見える化・時系列(各年度年次表示)	4.5	4.7	5.1			6.2	6.4	6.5	6.2	6.2	6.3	5.7	6.3	6.3					
調整済み軽度認定率(要介護1~要介護2)	B6-b	%	見える化・時系列(各年度年次表示)	4.4	5.1	5.5			7.8	7.7	7.7	11.7	11.7	11.7	7.4	6.4	6.0					
				H28	H29	H30	H29	備考	H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30					
受給率(施設サービス)	D2	%	見える化・時系列(各年度年次表示)	3.2	3.2	3.2	96.7	※施設サービスの利用者数の対計画比	3.2	3.2	3.2	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.6	・施設サービスは全国平均より高く、山梨県平均と同等、居住系サービスは全国平均、山梨県平均より低い。	・施設サービスが充実しているのではないかと。 ・居住系、在宅サービスが不足していないか。	・人口10万人あたりのサービス提供事業所数を地域間比較すると、施設は全般に全国平均、山梨県平均より高い。	・広域型特養が充実しているが、介護離職ゼロ及び特養待機解消に向けた基盤整備の必要性について、議論する必要がある。	
受給率(居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列(各年度年次表示)	0.1	0.3	0.3	82.7	※居住系サービスの利用者数の対計画比	0.5	0.6	0.6	1.2	1.2	1.3	0.5	0.5	0.5	・居住系、在宅サービスが不足していないか。	・同様に、居住系は全般的に低い。	・地域包括ケアの中核となる定期巡回、小規模多機能、看護小規模多機能の経年変化を分析し、基盤整備の必要性について、議論する必要がある。		
受給率(在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列(各年度年次表示)	5.8	6.3	6.7	108.5	※介護予防支援・居宅介護支援の利用者数の対計画比	9.9	9.6	9.6	10.5	9.9	9.6	8.7	8.4	8.4	・在宅及び居住系、在宅は全国平均より高く、山梨県平均より低い。	・ひと暮らしの高齢者を支えるケアプランの作成にあたり、訪問介護を抑制していないか。	・同様に、在宅は訪問リハ、通所介護、短期入所(老健・病院)、定期巡回、認知症デイ、小規模多機能、看護小規模多機能が低い。		
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住系サービス)	D15-a	円	見える化・時系列(各年度年次表示)	129,934	129,499	130,976			129,302	135,107	136,559	117,649	125,334	129,290	129,347	137,797	147,539	・在宅及び居住系、在宅は全国平均より高く、山梨県平均より低い。	・ひと暮らしの高齢者を支えるケアプランの作成にあたり、訪問介護を抑制していないか。	・認知症高齢者数も毎年増加しているため、グループホームの必要性について、議論する必要がある。		
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	D15-b	円	見える化・時系列(各年度年次表示)	128,128	125,540	127,233	85.6	※在宅サービスの給付額の対計画比	124,219	129,800	131,004	107,724	114,945	118,578	124,027	133,316	142,732					
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	D17-a	円	見える化・時系列(各年度年次表示)	57,224	56,281	55,012	89.0	※訪問介護の給付額の対計画比	47,497	52,218	53,259	51,946	61,607	67,508	45,684	47,913	53,989	・訪問介護は全国平均より低く、山梨県平均より高い。	・通所介護、地域密着型通所介護、認知症対応型共同生活介護の利用者の割合が軽度認定者が多いのではないかと。	・ケアマネからヘルパーが不足しているとの声が上がっているため、介護人材の確保に努める必要がある。		
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	D31-a	回	見える化・時系列(各年度年次表示)	23.1	22.0	21.3	100.5	※訪問介護の1人1月あたり利用日数・回数の対計画比	16.3	18.3	18.7	16.8	20.9	23.7	16.7	17.7	19.4	・通所介護は山梨県平均より低く、全国平均より高い。	・短期入所生活介護は気候に応じた利用となっているのではないかと。	・通所介護の日数・回数は全国平均、山梨県平均が増加中、本市は減少傾向。		
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	D17-f	円	見える化・時系列(各年度年次表示)	89,248	87,298	87,073	81.4	※通所介護の給付額の対計画比	82,117	89,390	91,639	64,813	74,038	81,634	87,523	93,694	104,682	・短期入所生活介護は気候に応じた利用となっているのではないかと。	・通所介護の日数・回数は全国平均、山梨県平均が増加中、本市は減少し横ばい。	・介護に関心を持つ介護未経験者に対して、介護の業務に携わるうえでの不安を払拭するため、基本的な知識を研修することにより、介護分野への参入を促進するために取り組む必要がある。		
受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)	D31-e	日	見える化・時系列(各年度年次表示)	10.9	10.5	10.5	91.1	※通所介護の1人1月あたり利用日数・回数の対計画比	9.6	10.7	11.4	7.5	9.2	10.7	10.0	10.9	12.3	・地域密着型通所介護は山梨県平均より低く、全国平均より高い。	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の利用者の割合が軽度認定者が多いのではないかと。	・グループホームはH28、H29は全国平均、山梨県平均を上回っていたが、H30は減少。		
受給者1人あたり給付月額(地域密着型通所介護)	D17-t	円	見える化・時系列(各年度年次表示)	82,831	82,263	76,841	計画見込みなし	※地域密着型通所介護の給付額の対計画比	90,590	90,572	89,988	73,993	74,693	74,839	87,203	84,270	86,078	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の利用者の割合が軽度認定者が多いのではないかと。	・短期入所生活介護は全国平均、山梨県平均より低い。	・グループホームはH28、H29は全国平均、山梨県平均を上回っていたが、H30は減少。		
受給者1人あたり利用日数・回数(地域密着型通所介護)	D31-j	日	見える化・時系列(各年度年次表示)	10.5	10.5	10.3	計画見込みなし	※地域密着型通所介護の1人1月あたり利用日数・回数の対計画比	11.1	11.1	11.0	9.6	9.6	9.7	10.4	10.3	10.7	・短期入所生活介護は全国平均、山梨県平均より低い。	・グループホームはH28、H29は全国平均、山梨県平均より高い。	・定期巡回はH29に開設、増加傾向。		
受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	D17-h	円	見える化・時系列(各年度年次表示)	89,172	87,837	90,110	69.8	※短期入所生活介護の給付額の対計画比	115,101	119,420	120,681	90,899	93,727	94,862	117,870	135,249	133,348	・短期入所生活介護は全国平均、山梨県平均より低い。	・グループホームはH28、H29は全国平均、山梨県平均より高い。	・定期巡回はH29に開設、増加傾向。		
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所生活介護)	D31-g	日	見える化・時系列(各年度年次表示)	11.8	11.4	12.0	115.4	※短期入所生活介護の1人1月あたり利用日数・回数の対計画比	14.4	14.8	15.0	11.3	11.5	11.6	15.0	17.0	16.8	・短期入所生活介護は全国平均、山梨県平均より低い。	・グループホームはH28、H29は全国平均、山梨県平均より高い。	・定期巡回はH29に開設、増加傾向。		
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	D17-q	円	見える化・時系列(各年度年次表示)	248,087	258,197	248,279	85.5	※認知症対応型共同生活介護の給付額の対計画比	239,576	243,986	244,737	243,864	249,261	252,074	230,975	227,871	236,206	・短期入所生活介護は全国平均、山梨県平均より低い。	・グループホームはH28、H29は全国平均、山梨県平均より高い。	・定期巡回はH29に開設、増加傾向。		
受給者1人あたり給付月額(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)	D17-m	円	見える化・時系列(各年度年次表示)	-	116,471	124,938	36.5	※定期巡回・随時対応型訪問介護看護の給付額の対計画比	143,340	141,604	133,482	147,559	151,072	151,277	-	-	-	・定期巡回は全国平均、山梨県平均より低い。	・グループホームはH28、H29は全国平均、山梨県平均より高い。	・定期巡回はH29に開設、増加傾向。		
受給者1人あたり給付月額(小規模多機能型居宅介護)	D17-p	円	見える化・時系列(各年度年次表示)	172,113	172,499	174,280	83.0	※小規模多機能型居宅介護の給付額の対計画比	182,923	185,852	190,088	176,889	179,463	180,217	188,015	176,327	184,258	・小規模多機能は全国平均、山梨県平均より低い。	・グループホームはH28、H29は全国平均、山梨県平均より高い。	・定期巡回はH29に開設、増加傾向。		
受給者1人あたり給付月額(看護小規模多機能型居宅介護)	D17-s	円	見える化・時系列(各年度年次表示)	207,937	202,633	220,364	68.6	※看護小規模多機能型居宅介護の給付額の対計画比	232,908	240,131	258,504	231,880	236,707	241,402	-	-	-	・看護小規模多機能は全国平均、山梨県平均より低い。	・グループホームはH28、H29は全国平均、山梨県平均より高い。	・定期巡回はH29に開設、増加傾向。		

※調整済み認定率：認定率の大小に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢別人口構成」の影響を除外したもの。(後期高齢者の割合が高い地域の認定率は、調整することで下がる。)